

## 第20回 障害者問題全国交流会 開催意義・目的

1. 障害者問題について関心を深め、障害者雇用の取り組みの輪を広げる活動として発展させていきましょう。
2. 誰もが共に育ちあいその能力を発揮できる質の高い職場環境をめざし、人を生かす経営を総合実践しましょう。
3. 地域の行政や他団体とも連携して、就労困難者の支援に取り組み、共生社会の実現を目指しましょう。

## ようこそ！近江の国 滋賀県へ！



第20回  
障害者問題全国交流会in滋賀  
実行委員長 田井 勝実氏

今から36年前、第1回障害者問題全国交流会が滋賀県で開催され、記念すべき第20回大会を再び滋賀県で開催させて頂くことを大変喜ばしく思います。

障害者問題委員会は、人間尊重経営の実践として障害者の雇用を拡大させる運動を推進してきました。この活動は全国に拡大を続けており、あと数県で全国の同友会に委員会が設置されることまでできました。また現在では、障害者雇用だけでなく、社会的養護の若者、シングルマザー、高齢者、ニートなど働き辛さを抱えた方々の就労支援にも活動が広がってきています。

今回、障害者福祉の祖と称される糸賀一雄氏の活動を振り返り、私たち中小企業経営者が障害者を取り巻く諸問題に取り組む真の目的は何なのか？を、同友会運動の視点から検討する機会にしたいと思えます。開催テーマに掲げた『人が輝くから、企業が輝く、地域が輝く』は、まさに中同協設立50周年、滋賀同友会40周年の節目となる今年、いつか、『かつて同友会に障害者問題委員会という委員会があったそうだよ。』と言われる世の中にするための起点となる交流会となることを祈念いたします。

## オプションツアー

### 明智光秀ゆかりの地を歩くコース

定員30名(最小催行人数20名) 参加費:7,000円(弁当代含む)



13:00 琵琶湖ホテル出発(バス車中にて昼食) → 日吉大社・旧竹林院庭園 → 西教寺(明智一族の菩提寺) → 坂本城址(明智光秀像、城址碑) → 大津駅着

### 陶芸のまち信楽で登り窯の見学と絵付け体験コース

定員30名(最小催行人数20名) 参加費:7,000円(弁当代含む)



13:00 琵琶湖ホテル出発(バス車中にて昼食) → 大津IC(名神・新名神) → 信楽IC → 日本最大級の登り窯 宗陶苑(説明・見学等) → 信楽IC → 大津駅着

※オプションツアーの申込締切も9月30日までとなります。

## 開催概要

日時	10/17(木)	10/18(金)
12:00	受付開始	8:30 開場
12:30	見学分科会出発	9:00 全体会開会
13:00	分科会開始	9:15 映像鑑賞&パネルディスカッション
18:00	分科会終了	12:30 閉会
18:30	懇親会開会	13:00 オプションツアー
20:00	懇親会終了	

**会場** 琵琶湖ホテル

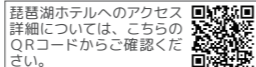
滋賀県大津市浜町 2-40 TEL:077-524-7111

**会費** 22,000円(懇親会・報告集代含む/宿泊費別途)

※消費税基本通達 5-5-7 に該当する共同行事のため課税仕入れにはしないようにお願いします。

**申込締切** 9/30(日) ※参加定員になり次第、締め切らせていただく場合があります。

※見学分科会の締め切りは8月31日となります。  
※10月1日以降のキャンセルは参加費・オプションツアー代金などの全額をご負担いただきます。ご了承ください。



琵琶湖ホテルへのアクセス詳細については、こちらのQRコードからご確認ください。



## 第20回 障害者問題全国交流会 in 滋賀 参加申込書

お申し込みは所属の同友会事務局までお願いいたします。

お名前	ふりがな		会社名	性別 男 女	役職
分科会	第1希望	第2希望	雇用	障害者雇用の経験は ある <input type="radio"/> ない <input type="radio"/>	
				オプションツアー	希望するものを○で囲んでください。 明智光秀コース <input type="radio"/> 信楽コース <input type="radio"/>

※本登録内容は行事設営のために中同協の管理のもとに参加者名簿等に活用し、それ以外に使用することはありません。※本行事の様相を撮影・録音し、記録されたものを印刷物やインターネット上で公開させていただくことがあります。参加者の皆さんの写真が掲載されることもありますので、不都合がございましたら所属同友会事務局までご連絡ください。※参加にあたって配慮(手話通訳、車イスなど)が必要な方は、所属の同友会事務局まで申し出てください。

# 第20回 障害者問題全国交流会 in 滋賀



## 2019年10月17日(木)・18日(金)

13:00~20:00

9:00~12:30

**会場：琵琶湖ホテル**

会費：22,000円(懇親会・報告集代含む/宿泊費別途)  
※消費税基本通達 5-5-7 に該当する共同行事のため課税仕入れにはしないようにお願いします。

主催：中小企業家同友会全国協議会

設営：滋賀県中小企業家同友会

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-7-16 市ヶ谷 KT ビル 3F  
TEL : 03-5215-0877 FAX : 03-5215-0878 https://www.doyu.jp/

〒525-0059 滋賀県草津市野路8丁目13-1 KE 草津ビル1階  
TEL : 077-561-5335 FAX : 077-561-5334 https://shiga.doyu.jp/

後援：滋賀労働局、滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、滋賀県商工会議所連合会、滋賀県商工会連合会、滋賀県中小企業団体中央会、滋賀経済同友会、一般社団法人滋賀経済産業協会、公益社団法人びわこビジターズビューロー、財団法人糸賀一雄記念財団

# 分科会 2019年10月17日(木) 13:00~18:00

## 第1分科会 | 北海道同友会 共に学び 共に育つ職場づくり

### みんなが幸せを実感できる企業をめざして

同社は1974年から、①民主的な運営、②自主的自覚的な行動、③目標と計画を大切にするという経営方針を掲げ、倒産寸前の会社から道内有数の印刷会社へと発展しました。男女の性による差別や障害による差別をしない、全社員が日報で情報共有をはかる、ノルマも人事考課もない会社。「労使見解」を柱に据えた経営は、木野口功現相談役から、奥山敏康社長へと引き継がれています。現在、重度を含め15名の障害者がいざいぎと働いています。



(株)アイワード  
代表取締役社長  
奥山 敏康氏

【設立】1965年【資本金】67,185千円【年商】38億4,800万円【社員数】202名(うちパート・アルバイト40名)【事業内容】ブック印刷、情報処理・システム開発、複色写真復元、年賀状事業  
【URL】http://www.iword.co.jp/

## 第4分科会 | 滋賀同友会 大丈夫、働けます!

### “人を生かす”の本質がありました

福祉、企業、その中間の実践者が、それぞれの立場から就労困難とされる若者(発達障害、社会的養護、ニート、引きこもりなど)の雇用について、実践報告及び問題提起をします。

福祉支援だけでは、若者を就労定着に至らせることは困難です。また一企業が若者を抱え込み、雇用を継続させることも困難です。そこで福祉行政と共に同友会の企業ネットワークが連携した好事例を紹介し、就労困難とされる若者の雇用について考えます。

コーディネーター  
認定NPO法人四つ葉のクローバー  
代表補佐  
遠城 孝幸氏



【設立】2013年【資本金】なし【年商】5,170万円【社員数】8名(うちパート・アルバイト3名)【事業内容】若者の自立援助ホーム事業、就労生活支援事業  
【URL】http://www.yotubankuroba2013.com

報告者  
油藤商事(株)  
代表取締役社長  
青山 裕史氏



【設立】1968年【資本金】5,000万円【年商】6億7,500万円【社員数】20名(うちパート・アルバイト10名)【事業内容】ガソリンスタンド、パイオティゼー販売給油所  
【URL】http://www.aburatou.co.jp/

報告者  
(株)フェアスタート  
代表取締役社長  
永岡 鉄平氏



【設立】2013年【資本金】500万円【年商】2,000万円【社員数】4名(うちパート・アルバイト2名)【事業内容】若手人材紹介サービス、若手障害者採用支援サービス  
【URL】http://fair-start.co.jp/

## 第2分科会 | 神奈川同友会 ダイバーシティが生み出す宝物

### 19人総活躍会社を目指す我々の取り組み

人材不足が叫ばれる中で、障害者、高齢者、外国人など・・・「多様な人材」を雇用し、活躍の場を作られている川田製作所の川田副社長がダイバーシティ経営の実践を報告します。

昨年の3月には「多様な人材の能力を活かし、価値創造につなげている企業を選定」する平成29年度「新・ダイバーシティ経営企業100選」(経済産業省)にも選定され、各方面から注目されています。



(有)川田製作所  
取締役副社長  
川田 俊介氏

【設立】1969年【資本金】900万円【年商】12億円【社員数】19名(うちパート・アルバイト4名)【事業内容】精密プレス・タッパ加工、プレス金型・治具製作  
【URL】http://www.kawada-ss.co.jp

## 第5分科会 | 栃木同友会 多様な人々が輝くために

### 発達障害者が運転免許証を取れる「つばさプラン」

(株)鹿沼自動車教習所では、過疎化と少子化に加え、若者の車離れで免許取得需要が激減する中、発達障害者の人たちが免許証を取得できる「つばさプラン」をNPO法人CCVや学校などの連携で作成しました。日本中から受講生が集まり、わずか7年間で170名の卒業生を出し、2018年度の「第1回輝くとちぎづくり」の最優秀賞を受賞しました。鹿沼自動車教習所では「つばさプラン」をさらに深め、運転免許取得に臨めなかった人に対しては、CCV学園で学び、その後再度、運転免許取得にチャレンジし直すセーフティネット「あおぞらプラン」を構築しています。

「つばさプラン」や「あおぞらプラン」を作成した経緯や思いから、地域で生きる人たちに何が出来るか、社会的課題解決のために何をすべきか考えます。



(株)鹿沼自動車教習所 代表取締役 古澤 正己氏

【設立】1963年【資本金】4,000万円【年商】1億9,400万円【社員数】32名【事業内容】自動車運転免許取得のための教習機関  
【URL】https://www.kanuma-ds.co.jp/



NPO法人CCV 理事長 福田 由美氏

【設立】2008年【資本金】なし【年商】1億3,000万円【社員数】34名(うちパート・アルバイト20名)【事業内容】不登校・ひきこもり・発達障害などの子どもたちへのサポート、障害者の就労・生活支援等【URL】http://ccv-npo.com/

## 第3分科会 | 愛知同友会 同友会の一丁目一番地はここにある

### 我々は企業家として障害者にどう向き合うのか

愛知同友会には、「経営の価値観は、生産性に非ず」「人づくりの本当の意味はここ(障害者との関わり)にある」と全会を挙げ、障害者の生活や労働を支えるために行動した歴史があります。この先達の意味を受け継ぎ、今、愛知では「一社一人関わろう」をスローガンに、障害のある人との関わりから人を生かす経営を学び深める取り組みを進めています。

命はみな平等、誰もが幸せになる権利をもって生まれてきます。障害のある社員の誇りある生き方、可能性を開花したいという願いをどう実現していくか。真和建装(株)と(株)浅井製作所の実践から、自主・自立型企業をめざす中小企業家として、障害者と関わることの意義を深めます。

コーディネーター  
サン樹脂(株)  
常務取締役  
磯村 裕子氏



【設立】1985年【資本金】900万円【年商】6億4,000万円【社員数】48名(うちパート・アルバイト8名)【事業内容】工業用のプラスチック製品の製造  
【URL】http://sunjushi.co.jp/

報告者  
真和建装(株)  
取締役会長  
杉浦 昭男氏



【設立】1977年【資本金】1,500万円【年商】14億円【社員数】39名(うちパート・アルバイト2名)【事業内容】塗装、看板、インテリア、防水工事、自社開発商品仕上げ、建材製造販売  
【URL】http://www.shinwakensou.com/

報告者  
(株)浅井製作所  
代表取締役  
浅井 順一氏



【設立】1972年【資本金】300万円【年商】16億9,000万円【社員数】77名(うちパート・アルバイト25名)【事業内容】自動車部品製造  
【URL】http://www.asai-ss.net/

## 見学分科会 | 滋賀同友会 障害者雇用なんてムリ!と思いついてるあなたへ 定員40人

### 人を生かす経営で心のバリアを取っ払え!

債務超過の不動産会社を引き継ぐが、売上・利益の追求でボロボロになって行く“社風”を何とかしたいと同友会へ入会。“経営とは何か”を経営指針づくりで学ぶ中で「人を生かす経営」の源泉が障害者雇用の中にあることに気づきます。今では障害者だけではなく若年無就業者の雇用と仕事づくりも手掛け、『障害者雇用優秀事業所表彰』や『滋賀でいちばん大切にしたい会社』を受賞。多様な人たちが共に働く姿を見学し、経営者と社員(聴覚障害)の報告から「人を生かす経営」を紐解きます。



(株)ピアライフ 代表取締役 永井 茂一氏

【設立】1994年【資本金】2,000万円【年商】5億円【社員数】30名(うちパート・アルバイト7名)【事業内容】不動産売買仲介、賃貸管理、開発、分譲販売、建築リフォーム事業  
【URL】http://www.pialife.co.jp/



(株)ピアライフ 賃貸事業部担当 大川 葵氏



見学分科会締切:8月31日(希望者多数の場合は人数調整をさせていただきます。) 見学分科会は12:30にホテルからバスが発します。

# 全体会 2019年10月18日(金) 9:00~12:30

## 第1部 9:15~

### 『この子らを世の光に』(VTR)鑑賞

2007年3月20日(火)放送 NHKスペシャル「ラストメッセージ第6集」

第1回障全交の開催県としての、滋賀同友会の原点とも言える、糸賀一雄氏とその仲間たちの今日に脈々と伝わる思いを、「この子らを世の光に」(VTR)という番組を通して全国に発信いたします。

ゲスト:(株)NHKエデュケーショナル 特集文化部(特集事務局)部長プロデューサー 牧野 望氏



## 第2部 10:45~

### パネルディスカッション

### 「真の共生社会の実現をめざして」

糸賀一雄氏の訴える「障害者と健常者が区別なく暮らせる社会」とは、誰かにとって良い社会ではなく、すべての人にとって良い社会であり、これこそが真の共生社会と言えるのではないのでしょうか。

多様な人が暮らす地域と、企業の社会貢献のあり方について、人間尊重経営を軸に共通の認識につなげていきます。



パネリスト  
中同協障害者問題委員会 委員長 比嘉 糸み子氏  
(有)やんばるライフ 専務取締役

パネリスト  
滋賀同友会 代表理事 永井 茂一氏  
(株)ピアライフ 代表取締役



ファシリテータ  
滋賀同友会 高橋 信二氏  
(福)ひかり福祉会 理事長